

「トシヲノオト、ミホノコエ 吉増剛造展」記念講演

吉増剛造の声

トシヲ、ミホに触れて

2018年12月1日(土) 14時-16時

浮舟文化会館 研修室

詩人 吉増 剛造 氏

定員 50人〈入場無料〉(要申込：電話もしくはメール)

電話 0244-66-1011

メール bungakushiryokan@city.minamisoma.lg.jp

写真提供 足利市立美術館

企画展「トシヲノオト、ミホノコエ 吉増剛造展」

平成30年11月23日(金・祝)～平成31年1月6日(日)

9:00-17:00 (休館：毎週月曜日)

植谷島尾記念文学資料館

979-2124 福島県南相馬市小高区本町二丁目 89-1 (浮舟文化会館内)

電話 0244-66-1011 FAX0244-44-1266

URL <http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/32,html>

主催 植谷・島尾記念文学資料館 共催 福島県立博物館、はじまりの美術館 協力 足利市立美術館、岩本圭司



企画展「トシヲノオト、ミホノコエ吉増剛造展」

「福島県博物館連絡協議会 被災博物館・被災文化財救済事業」として、福島県立博物館、はじまりの美術館との3館連携による展覧会を催す運びとなりました。

当館においては、本市ゆかりの文学作家島尾敏雄・ミホ夫人と親交があり、奄美を頻繁に訪れ、詩作や多重露光写真の撮影などを行いました。今展示では、島尾敏雄・ミホに関する資料のほか、吉増氏の近年の作品を展示しております。

■記念講演講師プロフィール

吉増 剛造 氏

1939年東京生まれ。慶應義塾大学国文科卒業。在学中から詩作を始め、1964年の第一詩集『出発』依頼、先鋭的な現代詩人として国内外で活躍。同時に詩の朗読パフォーマンスを行い、80年代からは銅板に言葉を刻んだオブジェや写真作品を発表。『黄金詩篇』（高見順賞）、『熱風 a thousand steps』（藤村記念歷程賞）、『オシリス、石ノ神』（現代詩花椿賞）、『螺旋歌』（詩歌文学館賞）、『「雪の島」あるいは「エミリーの幽霊」』（芸術選奨文部大臣賞）、『表紙』（毎日芸術賞）その他、東日本大震災の記憶を留める『裸のメモ』（2011年）、『怪物君』（2016年）、『火ノ刺繍』（2018年）を発表。2003年紫綬褒章、2013年文化功労者、2015年日本芸術院賞受賞。

2016年には展覧会「声ノマ全身詩人、吉増剛造展」が東京国立美術館で開催された。2018年には、展覧会「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」が足利市立美術館、沖縄県立博物館・美術館、渋谷区立松涛美術館で開催された。